



# じこぜんひろば

No.93 2019年(平成31年)1月1日

地御前地区自治会



## 20年振り「子ども神輿が復興」

田屋子子ども会 会長 岩本陽子

役員の集まりに宮司の飯田さんがおられたことで、20年近く前に寄進され一度出たきりのお神輿があり、法被もその時に奉納されていること、もわかり企画をすすめました。久しぶりのお神輿の呼びかけに、4区子ども会合同で38名の希望者が。思いがけない大人数に、足りない法被は他の子ども会から借り、何から何まで手探りの状態でした。



子ども会役員の集まりで「子どもの頃、お神輿をして楽しかった。ぜひやってみよう」との声があがったことから大歳神社の秋祭り約20年ぶりに子ども神輿を行いました。



大変でしたが子ども神輿が出来て本当によかったです。

思ったより重たいお神輿に急遽、父兄にも助けってもらい、最初こそ戸惑った小さな掛け声も沿道からの応援に「わっしょいわっしょい」と次第に声も揃って元気な声に変わりました。



当日は秋晴れの下、初めてみる重厚なお神輿や真新しい法被、豆絞りの鉢巻きに子どもたちは大喜び。



## 地御前史跡めぐりに参加して

港町 三浦 由芳

地御前に移り住み8年、神社はあちこちにありますが、行く機会がなく、以前から気になっていた史跡めぐりに今回初めて参加しました。

今回のコースは今市稻荷神社、八ツ面神社、神宮寺毘沙門、釈迦堂、大歳神社、地御前神社でした。

なぜこの地に神社ができたのか、宮本さんが言い伝えなど詳しく教えてくださり、とても興味ある話ばかりでした。その中で一番印象に残った話は宮島弥山の山頂と巖島神社、地御前神社、極楽寺が一直線



上その先に北極星があり、地御前神社が真ん中に位置し方位学が関係することです。

また、普段見られない神宮寺毘沙門のムカデの絵、釈迦堂の如来座像も門を開けて見せてくださりありがたい気持ちになりました。機会があればまた参加したいです。

## 「公衆衛生事業部です」

公衆衛生事業部書記 小石 美由紀

12月1日(土)に『きらきら公園』と『地御前市民センター』の花壇の花の植え替えを行いました。



他にも地御前地区の計4カ所の花壇の管理を行っております。

私たち部員はこの花壇を通じて、地御前地区の皆さまに元氣と癒しをお届けできたらと思ひ、日々、水やりや草抜きなどのお世話も大切におこなっております。ぜひそんな花壇に足を止めていただけたら幸いです。



## 防災マメ知識

避難情報には「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」の3つがあります。

また、避難情報には発令対象区域があります。発令対象区域は各種ハザードマップに掲載している危険箇所や過去に被害のあった箇所を基本としています。日頃からどこが危険箇所なのかハザードマップで把握しておきましょう。

※地御前市民センター階段踊場掲示板に掲載されています。

## トピックス

地御前神社西側有府川から広電地御前第2踏切までの道路が拡幅。田屋、桃山方面からの通行が緩和され大変便利になりました。



## お知らせ

とき：1月13日(日)

13時点火

ところ：地御前5丁目新港

カキ資材置き場

お神酒：おでん・せんざい等...

しめ飾りは解体して針金等外し紙袋に入れてお持ち下さい。

主催：地御前郷土文化保存事業協賛：地御前長寿連合会

地御前地区自治会

## お詫びと訂正

「じこぜんひろば92号」に掲載の「御陵衣祭と流鏑馬」の記事において、誤字がありましたことをお詫び申し上げます。舞楽が奉奠→舞楽が奉納 五情報の儀→五乗法の儀

## 編集後記

ある画家がこんな言葉を残している。「私は、私が愛した風景を描いている。」新聞もテレビも、不信・不安・不敬でいっぱい。だから、ささやかなレジスタンスとして「じこぜんひろば」は「愛したできごとを書いている」というものになりたい。地御前の皆さんからの投稿をお待ちしております。 J.K

【発行】 地御前市民センター内 地御前地区自治会 広報事業部

# 頑張れポイチ!!

鹿之子 手島 大介

2018ワールドカップロシア大会も終わり、世界各国が2020東京オリンピック・2022ワールドカップカタール大会への代表の監督等の体制作りを始めている。日本サッカー協会でも森保一(もりやす はじめ)さん

## 指導歴

2004	JFA(日本サッカー協会)公認S級コーチライセンス取得
2005~2007	サンフレッチェ広島育成コーチ U-19/20日本代表コーチ
2007~2009	サンフレッチェ広島コーチ
2010~2011	アルヴィレックス新潟ヘッドコーチ
2012~2017	サンフレッチェ広島監督(2012・2013・2015J1優勝)
2017~	オリンピック代表監督
2018/4月~7月	日本代表コーチ
2018~	日本代表監督

森保さんは就任発表会見で、「この二つの代表の監督をやっていくには本当に覚悟が必要。日本代表が多くの方に支えられて活動できることを感謝しながら、覚悟と感謝の二つの気持ちを持って職責を全うしたい」と表明をした。森保さんは、選手としてマツダに入ってからひたむきに練習に取り組み、努力に努力を重ねた報酬として日本代表選手まで駆け上がった。プレイヤーとしての森保さんのスタートは「体はないし、スピード、技術もなかった」しかし「視野の広いこと、逆サイドまで遠くまで見ることができて、ゲームの流れが読めること、そして長く正確なパス」と良い面のセンスを買われていた。

森保さんは、広島で開催された就任祝賀会で「広島でたくさんの経験や支えを得たことで今の自分がある。教育して頂いた方々に激励されて光栄です。広島時代と同様、日本代表でも1戦1戦勝利するために最善の努力を重ねたい」と挨拶。その言葉の中には重責を果たす決意が表れていた。森保さんのプレイヤー時代から交流のあった選手やスタッフの方たちの評価でも誠実・謙虚な面目で、脚光を浴びてきた選手ではなくコツコツ努力してはいあがつて日本代表になつたので、指導者になつてからの評価も高い。注意深く選手を見る目を持っていると思う。それに彼自身がボランチとしてチームをまとめる立場でプレーしていたこともあり試合の流れを読み、ぶれない心と選手の動きを把握する力を身に付けていると思う。

彼の当たり前のことを当たり前にやる。ぶれない気持ち、とことんやり続ける精神で2020も2022も我々に良い夢を見せてくれるような気がして仕方がない。頑張れポイチ!

## ご長寿を祝う会

堀中町町内会長 吉田奈緒美

9月29日(土) 11時から、堀新町と堀中町合同の「ご長寿を祝う会」を開催しました。当日は、あいにくの雨でしたが、堀新町から9人、堀中町から5人の方々にご出席いただきました。



ケでは自慢のノドを披露してください。元気なご長寿の方々の様子に、スタッフ一同も元気をいただきました。またスタッフの中には「いつも登下校の見守りをしてくださっている方々にお会いできてよかった」と感想を述べる人もいて、地域のつながりを感じられる場となりました。ご長寿の皆様には、これまで地御前を盛り上げてくださったことに、心から感謝しております。そして、お元気で、ますますのご長寿をお祈りしております。



## 地御前人生ゲーム

青少年事業部 桐林 潤

一昨年、地御前地区自治会創立40周年事業で行われた「地御前人生ゲーム(公園ウォークラリー)」を昨年も行いました。合計13チーム、66名が参加しました。平成27年5月から9月に行われた「ワークショップTeam Jigozen」で体験した街歩きがとても楽しかったことから、ぜひ子どもたちや家族で街歩きをやってみたいと思っていました。



一昨年同様、昨年も天候に恵まれました。堀の町子ども会からの参加協力もあり、たくさんの子どもと親たちとで楽しく過ごすことができました。

家族で参加して下さった方からは「親子でゆったり街歩きをすることなどなかったの



開催された12月1日が丁度、大歳神社の月次祭(つきなみさい)が行われる日であったことから、宮司の飯田さんにご協力いただいて、参加者が神社の御朱印を押してもら



携行した小冊子に課題を盛り込み、街歩きをしながら、ゴミを拾ったり、俳句を詠ん

だり、意識的に五感を働かせることでいつもの場所から何か新しい発見をするなどに取り組んでもらいました。1時間程度の街歩きの後、市民センターに集まって、互いの成果を発表しました。子どもたちの初々しい感性に触れることができ、とても良い交流ができました。

### 足立 壮佑(小5)

最初に、妹が落ちている花を見つけて拾いました。ほくは花びらが落ちていても何も思わなかったけど、妹がひろって「かわいいね」と言っているのを見て、うれしい気持ちになり、花はキレイだなと思いました。次に、キラキラ公園に歩いてゆくとときに通っていたところが公園だったと気づきました。となりにも何か建物がありました。家族でのんびり歩いて良かったです。

### 参加者の感想



## 小学校の将棋クラブに参加して

桃山 矢吹 敏子

私は子どもの頃(小4)父の手ほどきで、将棋で遊んでいました。しかし、その後は一度も将棋を指した記憶がありませんでした。



中西 和花(小1)

こげた家の壁がありました。水をはじくためにわざと焦がしているとお父さんに聞いて知りました。



桐林 恵子(小3)

地御前の桜がきれいな春を待つ

※チームじごぜん：YouTube動画で概略の紹介を見ることができます。Team Jigozenで検索してみてください。

デイサービスでお年寄の将棋相手にと息子から話を受け、月一度相手をする事になりました。基礎的な事は何も習ったことが無いので、地御前長寿会が毎月2、4、5、日曜日に市民センターで行っている囲碁将棋クラブを知り、責任者の鎌田様に教えをお願いしました。

そこで一冊の本を渡され2度程講義を受けるなか、地御前小学校で将棋クラブを指導されている事を知り、学校の許可を得て、11月28日に出掛けました。学校では4、6年生の6名が、対局していました。その棋盤を見ると全体像が判り、時には私の考えと全く予想もしなかった打ち方に驚かされたり、定石通りの駒の運びに感心したり...あつと言う間の一時間でした。一局が終わると講師の方たちが細かく指導されていました。

鎌田様に教わったお陰で将棋の面白さが判り遅まきながら続けたいと思った一日でした。

